

ミッションのつくり方

Mission

ミッションをつくる時のポイント

1. 企業・団体にとって普段課題となっているモノゴトをテーマに
2. とはいえ、中学生が理解できる範囲で
3. ミッションやそれを考える過程で社会の流れや課題などが見えてくる
4. 子どもたちの創造性やオリジナリティが発揮でき、実現する可能性がある
5. 3日間で何にどのように取り組むか（ゴール）を明確に

例) アイマーク環境の場合

1. 廃棄物の削減や、市民への環境意識の啓発が課題
2. 市民への環境意識の啓発について、中学生ならではのアイデアは出してもらえそう
3. 実際にゴミ収集の現場を見れば、ゴミの量やマナーの現状が実感してもらえそう
4. 「スポーツゴミ拾い」の企画の一部を子どもたちに任せたら新しい発想ができそう
5. 「スポーツゴミ拾い」の参加者を増やすための方策を子どもたちと一緒に考えよう

ミッション

廃棄物の仕事を通じて、
佐渡らしさのある
「スポーツゴミ拾い」を
企画しよう

ミッションの系統とミッション例

- Mission A** 人に対するミッション
プロとして人と関わる、ケアする視点を学びながら、
相手がよりよくなるようなプログラムを考える
例：ケアセンターうしろやま「〇〇さんのケアプランを考えよう」
吉井保育園「運動遊びプランをつくって園児と元気に遊ぼう」
- Mission B** ものづくりミッション（形に残る商品をつくる）
中学生らしい発想で新しいものをつくる
例：しまや「しまやのお菓子の新しいパッケージを考えよう」
新潟メンテック「2018年トキマロン完走メダルのデザイン試作品を制作しよう」
- Mission C** 企画系ミッション（無形のものを新たに生み出す）
良さを理解して、付加価値や新しいアイデアを生み出す
例：佐渡博物館「金銀山を楽しく伝える小中学生向けのクイズやパンフレットをつくろう」
伊藤建設「地域を支える建設業の重要性を知ってもらう企画を考えよう」
- Mission D** 発信系ミッション（すでにあるものを活かす）
認知度を向上させ、魅力を知ってもらうために、発信する
例：フレッシュマツヤ「今日のおすすめ商品のPRツールをつくろう」
佐渡テレビ「課題解決型職場体験を番組にしよう」

クイズやキャラクターを
考えてみよう

生徒は、職場体験を終えると、職場体験のまとめをするのではなく、
事業所からもらったミッションに対する「中学生提案」を作成します。

職場体験中は、ミッションに対する提案のために
課題の背景を知り、具体的な体験を重ね、心も体も動かしながら過ごします。
提案のためのたくさんの材料を持ち帰らせてください。

職場体験の中で、すでに中学生提案が出来上がったら、
学校での事後学習に活かせるような発展課題（右図の6を参照）を投げかけてください。

クイズやキャラクターを
スポーツゴミ拾い以外にも活かして、
佐渡のゴミ削減の提案をしてほしいな



6 発展課題

課題に立ち戻り、
中学生提案に向けた
期待を伝える

7 中学生提案づくり

8 発表



学校へ

5 プロの フィードバック

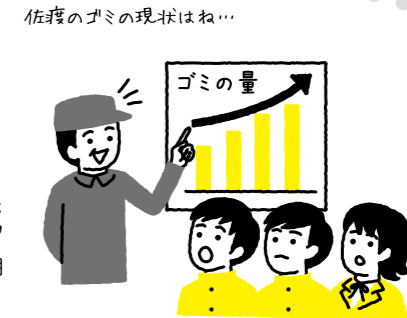
プロの目線で足りない視点や
既にある事例などを伝える

ステキなキャラクターが
できたね

START!

1 課題の認識

課題の背景に対する説明



佐渡のゴミの現状はね…

ミッション

廃棄物の仕事を通じて、
佐渡らしさのある
「スポーツゴミ拾い」を
企画しよう

2 現状把握

体験を通して仕事を捉える



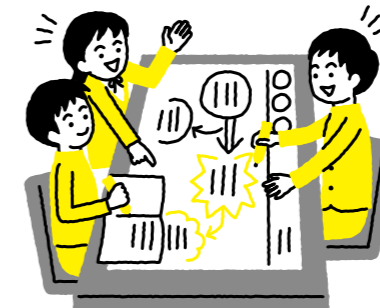
地域によって
ゴミの現状も違うね

4 小さなトライ

中学生のアイデアを
実際に形にしてみる、
もしくは実行をしてみる



スポーツゴミ拾いで
何が出来るかな



3 課題解決の アイデア

体験を通じ、ミッションに対して
中学生ならではのアイデアを考える